社会資本総合整備計画

稲美町における住環境の向上（第3期計画）

稲美町

令和7年9月

社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和06年09月03日

計画の名称	稲美町における住環境の向上（第3期計画）		
計画の期間	令和０３年度　～　令和０７年度　(5年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	稲美町		
計画の目標	町内全域の町道のうち建築行為が行われる敷地に接する建築基準法第42条第2項道路に指定されている町道、または地区計画区域内の地区施設に指定された道路（以下「狭あい道路」という）を対象として、建築確認申請提出後に後退道路用地の確保及び道路の拡幅工事を行い、良好な生活環境の形状及び都市機能の向上を図ることで、安全で安心できるまちづくりを実現する。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	33	A	33	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R3当初)		(R7末)
1	稲美町における狭あい道路の拡張整備の割合			
	稲美町における住環境の向上（第3期計画）により、令和７年度までに狭あい道路の拡張整備の割合を86%から100%に向上させる。 （稲美町における狭あい道路の拡張整備割合）＝（拡張整備実績延長）／（「稲美町狭あい道路拡幅整備促進計画」延長）	86%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000690030

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R03	R04	R05	R06	R07	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	稲美町	直接	稲美町	－	－	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路拡幅整備（町内全域）	稲美町	■	■	■	■	■	33		－
											小計						33		
											合計						33		

案件番号： 0000690030

交付金の執行状況

（単位：百万円）

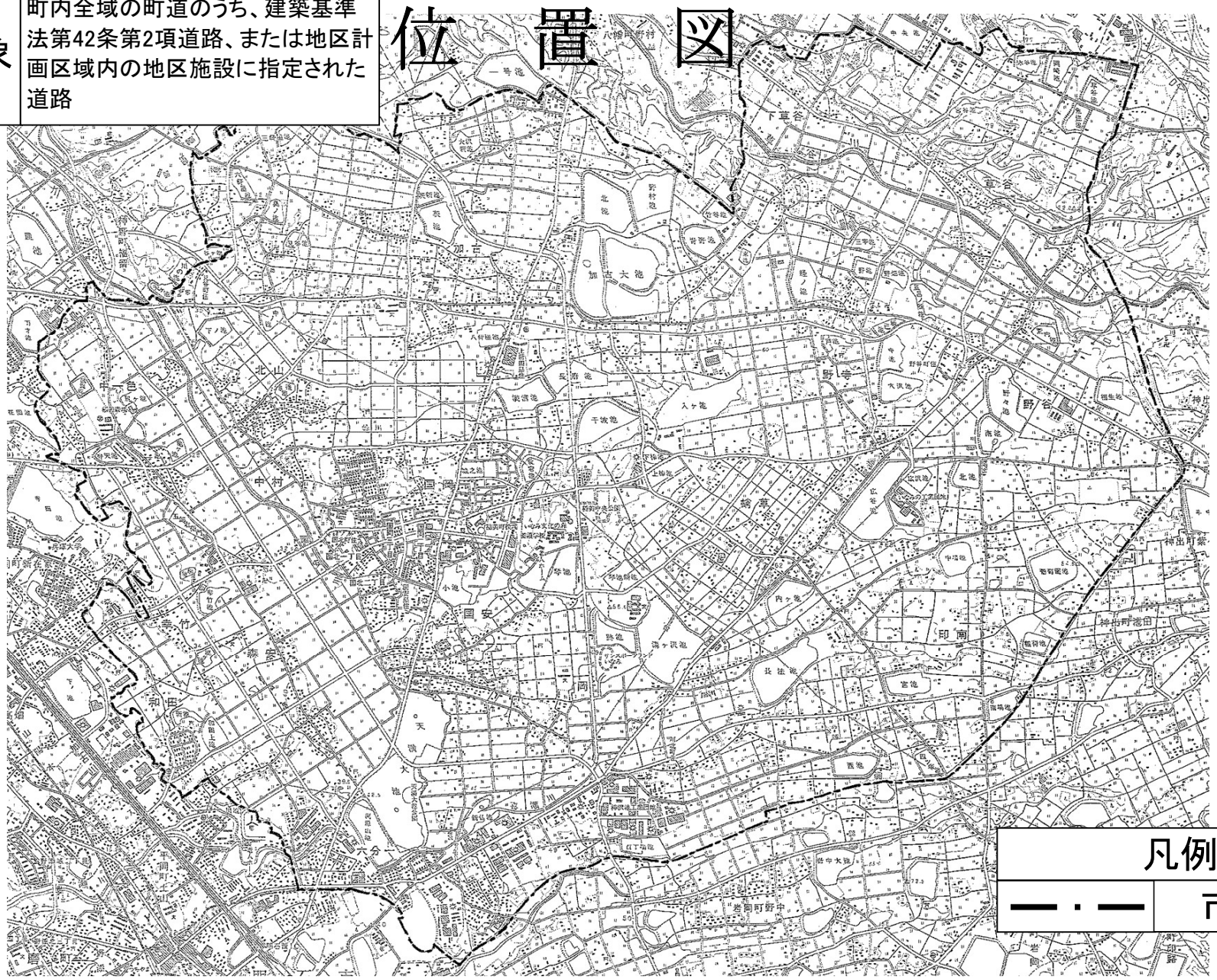
	R03	R04	R05	R06	
配分額（a）	3	3	3	2	
計画別流用増△減額（b）	0	0	0	0	
交付額（c=a+b）	3	3	3	2	
前年度からの繰越額（d）	0	0	0	0	
支払済額（e）	3	3	3	2	
翌年度繰越額（f）	0	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額（h = c+d-e-f）	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	-	-	-	-	

（参考様式３）参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	稲美町における住環境の向上（第3期計画）		
計画の期間	令和3年度　～　令和7年度　（5年間）	交付対象	稲美町

事業対象	町内全域の町道のうち、建築基準法第42条第2項道路、または地区計画区域内の地区施設に指定された道路

位置図



凡例	
―・―	市町界

事前評価チェックシート

計画の名称： 稲美町における住環境の向上（第3期計画）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①計画の目標が基本方針と適合している。	○
I.　目標の妥当性 ②地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I.　目標の妥当性 ③緊急性の高い課題に取り組む内容になっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ①事業の内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
III. 計画の実現可能性 ①事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 ②計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○

案件番号：0000690030